



平成18年10月6日

関係各位

高千穂交易株式会社
代表取締役社長 戸田秀雄
(コード番号 2676 東証第1部)
問い合わせ先
取締役常務執行役員
経営システム本部長 赤堀寛人
電話 03-3355-1111

平成19年3月期中間業績予想(連結・個別)の修正について

平成18年5月10日付当社「平成18年3月期決算短信」で公表いたしました平成19年3月期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)の中間期業績予想(連結・個別)を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結中間期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	13,100	680	410
今回予想(B)	14,390	630	380
増減額(B-A)	1,290	50	30
増減率	9.8%	7.4%	7.3%
前期(平成18年3月期)中間期実績	11,585	643	428

2. 個別中間期業績予想の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期利益
前回予想(A)	11,800	530	320
今回予想(B)	13,220	490	300
増減額(B-A)	1,420	40	20
増減率	12.0%	7.5%	6.3%
前期(平成18年3月期)中間期実績	10,450	530	354

3. 修正理由

中間期業績予想につきましては、主力のデバイス事業で半導体販売が好調な需要等により大幅に伸びたほか、機構部品や連結子会社の販売が堅調に推移したことから、セキュリティ機器販売が当初予想を下回ったものの、全体では増収の見込みであります。一方で、デバイス事業の商品売上構成比率の増加による利益率への影響もあり、当初予想を修正するものであります。

(1)連結売上高につきましては、半導体が旺盛なデジタル機器需要等により当初予想を大きく上回るほか、機構部品もATM（現金自動預け払い機）の生産増等で好調に推移し、連結子会社の高千穂コムテック(株)及び(株)エスキューブでもメーリングシステム、セキュリティ機器販売が堅調に推移しました。一方で、リテール向けセキュリティシステムは、小売業での新規出店の下期ずれの影響や新規開拓の遅れ等から、受注残の積み増しができたものの当初見込みにいたりませんでした。連結の売上高は当初予想を上回る見通しであります。

(2)連結利益につきましては、利益幅が低いデバイス事業の売上比率の増加による影響を受け、販管費を当初計画から若干圧縮できるものの、経常利益及び当期純利益は当初予想を下回る見通しであります。

(3)個別の修正理由につきましても、ほぼ同様であります。

4. 通期について

通期業績につきましては、半導体事業等の市場の不確定要素や、システム機器受注残の増加等もあり、当初予想通りといたします。

当社は、引き続き事業戦略を強力に推進し、業績の向上に努めてまいり所存であります。

(ご参考)

連結・個別通期業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月30日）（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期利益
連結通期業績予想	27,200	1,450	860
個別通期業績予想	24,600	1,160	690

この資料の予想は、本資料の発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上